

# 令和6年度 板橋グリーンカレッジ 専門課程（後期） 講義概要

## 【文化文学コース】

ねらい: 様々な文化や文学について理解を深め、自己の教養向上をめざす。

令和6年度後期は、「歴史・文化」をテーマに、現代までの様々な分野の歴史を学ぶことで、現代社会について理解を深め、考えるきっかけとなることをめざす。

日程: 原則として、各回月曜日 14:00 から 15:30 まで **(第9～11回のみ木曜日)**

会場: グリーンカレッジホール (志村3-32-6) 3階 教室1

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
<p>(第9～11回) <b>9月26日</b> <b>10月3日</b> <b>10月10日</b></p> <p>成蹊大学 文学部国際文化学科 准教授</p> <p>てらもと のりこ 寺本 敬子</p>	<p><b>万国博覧会とは何か – 歴史的展開と日本</b></p> <p>2025年に大阪・関西万博が開催されますが、そもそも万博とは歴史的にいかなる経緯で誕生し、現在に至るまで開催されてきたのでしょうか。本講義では19世紀ヨーロッパにおける万博の誕生、幕末日本の万博デビューとジャポニスム、20世紀以降の万博の展開を検討し、万博とは何かを皆さんと共に考察していきたいと思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 9月26日: 19世紀ヨーロッパにおける万博の誕生</li><li>● 10月3日: 幕末日本の万博デビューとジャポニスム</li><li>● 10月10日: 20世紀以降の万博の展開</li></ul> <p><b>★本講義は木曜日での実施となります。</b></p>	<p>万国博覧会に焦点を当て、近代以降の日本と世界における文化・社会の歴史的展開について理解を深めます。</p>
<p>(第12～14回) <b>11月25日</b> <b>12月2日</b> <b>12月16日</b></p> <p>東京大学 史料編纂所 教授</p> <p>かねこ ひらく 金子 拓</p>	<p><b>戦国時代の文化 – 旅と食と酒</b></p> <p>戦国時代は、いまにつながるような食事のあり方(懐石料理など)ができあがった時代であり、それはお酒を伴う場や茶会などにより普及しました。今回はこうした戦国時代の食べ物や飲み物、それにともなうおもてなしのあり方に注目するとともに、文化的側面として、京都の文化が地方に伝播するきっかけとなった旅のあり方にも注目して話をします。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 11月25日: 戦国時代の食</li><li>● 12月2日: 戦国時代の酒とおもてなし</li><li>● 12月16日: 戦国時代の旅</li></ul>	<p>食や酒、旅にまつわる戦国時代の史料を読み、理解することで、現代のわたしたちの食生活や飲酒、旅行のあり方につながる面、異なる面について考え、自分たちのふだんの生活を相対化して捉えられるような視点を獲得する。</p>

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
<p>(第15～18回)  <b>1月27日</b>  <b>2月 3日</b>  <b>2月10日</b>  <b>2月17日</b></p> <p>大正大学            文学部歴史学科            教授</p> <p>つかだ よしみち            塚田 良道</p>	<p><b>古墳と埴輪 - さきたま古墳群から古代を探る -</b></p> <p>埼玉県行田市のさきたま古墳群は、古墳時代の歴史を物語る数多くの考古資料が発見されています。この講座ではさきたま古墳群を例に、前方後円墳や埴輪の見方を学び、あわせて古墳時代の文化や人物について考えてみたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●1月27日: 前方後円墳とは何か - 古墳の調査と埋葬施設-</li> <li>●2月 3日: 埴輪の世界 - 人物埴輪が語ること-</li> <li>●2月10日: 鉄剣銘文と氏族 - ワカケル大王とヲワケ-</li> <li>●2月17日: 古墳と渡来文化 - 古代東国の渡来人たち-</li> </ul>	<p>さきたま古墳群を例に、古墳時代の歴史を理解することで、遺跡や博物館に出かけて考古資料を見学するときの見どころを学びます。</p>

**【注意事項】**

- 1 入学2年目の方は、講座の受講のほかに、卒業レポートを提出していただく必要があります。  
 卒業レポートの提出期間は、11月1日(金)～12月2日(月)です。詳細は、「卒業レポート」提出のお願いをご覧ください。
- 2 やむを得ない事情により、日程、講座テーマ、場所を変更することがあります。
- 3 長期欠席の後にご出席される場合は、下記まで日程の変更の有無をご確認ください。  
 (板橋区立グリーンカレッジホール 電話 03-3960-7701)

# 令和6年度 板橋グリーンカレッジ 専門課程（後期） 講義概要

## 【社会生活コース】

ねらい： 社会に関わる様々な事象について学び、社会や生き方を見つめ直すヒントを得る。

令和6年度後期は、「経済と暮らし」をテーマに、社会問題や経済について広く学び、暮らしに役立つ知識を得ることで生活の質の向上をめざす。

日程：原則として、各回水曜日 10:00 から 11:30 まで

会場：グリーンカレッジホール（志村3-32-6）3階 教室1

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
<p>(第9～12回) <b>9月 4日</b> <b>9月 11日</b> <b>10月 9日</b> <b>10月 16日</b></p> <p>渋沢史料館 館長</p> <p>くわばら こういち 桑原 功一</p>	<p><b>渋沢栄一の活動と「論語と算盤」</b></p> <p>渋沢栄一は、日本に近代的経済社会の基礎を築きます。多くの株式会社の設立・育成と共に、社会公共事業や国際交流に尽力します。その際、利益を求める経済にも道徳が必要であると、道徳と経済（論語と算盤）の一致を心掛け、実践しました。栄一の「論語と算盤」の考えに基づいた実践のあり方を探ってみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 9月 4日：幼少～青年期における栄一の道徳実践をみます。</li><li>● 9月11日：『論語』を指針にした栄一の企業実践のあり方を考えます。</li><li>● 10月 9日：福祉事業活動における栄一の考えをみます。</li><li>● 10月16日：栄一が社会に広く「論語と算盤」を主張し始める意味を考えます。</li></ul>	<p>大きく変化する時代に向きあった渋沢栄一の考えや生き方を学び、これからの自分の生き方のヒントを得ます。</p>
<p>(第13～15回) <b>11月 6日</b> <b>11月 27日</b> <b>12月 11日</b></p> <p>一般社団法人 リテール AI 研究会 代表理事</p> <p>はやし たくと 林 拓人/ 理事</p> <p>たなか ゆうさく 田中 雄策</p>	<p><b>流行りのデジタル技術を楽しく学び、体感しましょう！</b></p> <p>この講義シリーズでは、最新のデジタル技術の基礎から実生活への影響まで学びます。SNS やオンラインエンターテイメント、ChatGPT、そして食品流通の革新について、具体的な事例を通じて理解を深めます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 11月 6日：デジタル技術によって構造そのものが変わる時代</li><li>● 11月27日：デジタルコミュニケーションとライフスタイル</li><li>● 12月11日：デジタル技術と食品流通の革新</li></ul>	<p>参加者はデジタル社会のトレンドとその実際の利用方法を理解し、最新のデジタル技術を学ぶことができます。</p>

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
<p>(第16～18回)  <b>1月15日</b>  <b>1月22日</b>  <b>2月5日</b></p> <p>大東文化大学            経済学部            特任教授</p> <p>やました はるこ            山下 東子</p>	<p><b>魚を取り巻く<sup>アポリア</sup>難問の解決を、経済学で考えてみよう</b></p> <p>海の温暖化や乱獲によって漁獲量は減少し、消費者の魚離れも急速に進んでいます。魚をとりまく諸問題(アポリア＝解決が難しい難問)について、講師が初歩的な経済学を用いつつ説明しますので、受講者の皆さんもぜひ一緒に解決策を考えていきましょう。講義の翌日に、誰かに話したくなるようなネタを毎回用意しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●1月15日:消費者の魚離れ—誰がなぜ食べなくなっているのか?</li> <li>●1月22日:新しい漁業制度—漁業権って何?</li> <li>●2月5日:ウナギを絶滅危惧種にしない意外な方法</li> </ul>	<p>米国の大学の授業方式を取り入れ、学びながら考えながら質問もする、「マルチタスク」で進めます。ぜひ楽しんでください。</p>

【注意事項】

- 1 入学2年目の方は、講座の受講のほかに、卒業レポートを提出していただく必要があります。卒業レポートの提出期間は、11月1日(金)～12月11日(水)です。詳細は、「卒業レポート」提出のお願いをご覧ください。
- 2 やむを得ない事情により、日程、講座テーマ、場所を変更することがあります。
- 3 長期欠席の後にご出席される場合は、下記まで日程の変更の有無をご確認ください。  
 (板橋区立グリーンカレッジホール 電話 3960-7701)

# 令和6年度 板橋グリーンカレッジ 専門課程（後期）講義概要

## 【健康福祉コース】

ねらい:健康寿命を延ばし、心身ともにいきいきと過ごすための秘訣を学ぶ。

令和6年度後期は「福祉」をテーマに、生活に役立つ制度や知識を培い、受講者がより快適に生活できることを目的とする。

日程:原則として、各回火曜日 14:00 から 15:30 まで

会場:グリーンカレッジホール（志村3-32-6）3階 教室1 **（第15回のみ4階ホール）**

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
<p>(第9～12回) <b>10月 1日</b> <b>10月 15日</b> <b>10月 22日</b> <b>10月 29日</b></p> <p>淑徳大学 人文学部人間科学科 教授</p> <p>ふじもり ゆうすけ 藤森 雄介</p>	<p><b>日本における「仏教(社会)福祉」の歴史と思想</b></p> <p>いわゆる「社会福祉」は、近代以降に西洋文化にルーツを持つ概念とされていますが、実は日本を含めたアジアでは、古の時代から仏教に根差した福祉的な実践が行われてきました。日本における仏教の教えに根差した福祉の原点について、一緒に考えてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●10月 1日:現代日本における「社会福祉」の定義</li><li>●10月15日:ソーシャルワークのグローバル定義とその課題から「仏教(社会)福祉」の可能性を考える</li><li>●10月22日:“淑徳大学 学祖 長谷川良信の生涯”から、仏教(社会)福祉実践を考える</li><li>●10月29日:仏教(社会)福祉キーワードとしての「利他共生」</li></ul>	<p>「仏教(社会)福祉」というユニークな視点を理解する事で、「社会福祉」の本質について自ら考える力を身につけます。</p>
<p>(第13～15回) <b>11月 26日</b> <b>12月 3日</b> <b>12月 10日</b></p> <p>板橋区発達障がい者 支援センター「あいポート」 センター長 こやま のぶこ 小山 伸子/</p> <p>板橋区発達障害児者 親の会「Jの会」代表 すずき まさこ 鈴木 正子/</p> <p>「空色のアトリエ」代表 はせがわ つかさ 長谷川 司/</p> <p>一般社団法人 秋田雨雀・土方与志 記念青年劇場 団員</p>	<p><b>大人の発達障害について理解する</b></p> <p>近年、発達障がいの診断を受ける方はとても増えています。板橋区は全国に先駆けて大人の発達障がい者支援センターを開設し、当事者活動も盛んです。本来、誰もが個性的な人間ですが、人と違うことが生きづらさとなる社会状況があります。多様性の尊重、誰もが生きやすい環境について一緒に考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●11月26日:発達障がいとは何か、基本を学びます。(小山先生)</li><li>●12月 3日:当事者の体験談を聞きます。(鈴木先生・長谷川先生)</li><li>●12月10日:演劇ワークショップで楽しいコミュニケーションを体験します。(一般社団法人秋田雨雀・土方与志記念青年劇場 団員)</li></ul> <p><b>★12月10日のみ4階ホールが会場となります。</b></p>	<p>脳の個性と言われる発達障がいについて学び、コミュニケーションワークを体験することで、多様性の尊重について考えを深めます。</p>

<裏面あり>

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
<p>(第16～18回)  <b>2月 4日</b>  <b>2月 18日</b>  <b>2月 25日</b></p> <p>東京家政大学            人文学部教育福祉学科            准教授</p> <p>みやち たかよし  <b>宮地 孝宜</b></p>	<p><b>学びの視点から地域コミュニティにおけるウェルビーイングを考える</b></p> <p>人生 100 年時代と言われる今日、人々が「幸せ」を実感することができる地域コミュニティを構築することが求められています。本講義では、学び、学び合いの視点から、これからの地域コミュニティのあり方について検討します。地域コミュニティにおいてウェルビーイングを高めるために私たちは何をすべきか、一緒に考えてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●2月 4日：高齢者の生きがいと学び</li> <li>●2月18日：コミュニティの今と昔                ～これからの地域コミュニティのあり方を考える～</li> <li>●2月25日：出張「こころカフェ」</li> </ul>	<p>地域コミュニティにおいて、自分ができることは必ずあります。これから一歩踏み出すきっかけとなる機会にしていきたいと思います。</p>

**【注意事項】**

- 1 入学2年目の方は、講座の受講のほか、卒業レポートを提出していただく必要があります。卒業レポートの提出期間は、11月1日(金)～12月3日(火)です。詳細は、「卒業レポート」提出のお願いをご覧ください。
- 2 やむを得ない事情により、日程、講座テーマ、場所を変更することがあります。
- 3 長期欠席の後にご出席される場合は、下記まで日程の変更の有無をご確認ください。  
 (板橋区立グリーンカレッジホール 電話 3960-7701)